

第 2 期安芸市中心商店街等振興計画

令和 7 年（2025 年）3 月

安芸市中心商店街等振興協議会

目 次

第 2 期安芸市中心商店街等振興計画策定にあたって	1
第 1 章 第 1 期安芸市中心商店街等振興計画の取り組み状況	2
1 たまり場	2
2 軽トラマルシェ	4
3 高校生マルシェ	6
4 情報発信・交流人口増大	7
(1)レトロな安芸まち歩きマップ(日本語版、英語版)	7
(2)東洋的漫遊祭	8
5 自然活用	9
(1)浜弁当	9
(2)かがりビーチ	10
(3)アキラボ(自然環境調査)	11
6 全国「商い甲子園」大会	12
7 アクションプランの種	12
8 ふりかえりの総括	13
(1)成果指標の達成状況	13
(2)人的つながりの拡大	14
(3)安芸高校の貢献	14
(4)For the future の誕生	14
(5)地域にかがやくわがまち商店街表彰 2024 の受賞	15
第 2 章 第 2 期安芸市中心商店街等振興計画	16
1 安芸市中心商店街等の位置及び範囲	16
2 計画の位置づけと計画期間	17
3 目標	17
4 基本方針	17
5 アクションプラン	18
6 数値目標	19
7 推進体制	19
【参考資料編】	
参考資料 1 安芸市中心商店街等振興協議会設置要綱	20
参考資料 2 安芸市中心商店街等振興協議会委員名簿	21
参考資料 3 安芸市中心商店街等振興協議会の開催状況	22
参考資料 4 安芸市中心商店街等振興協議会ワークショップの開催状況	22
参考資料 5 アクションプラン（行動計画）	23
参考資料 6 アクションプランの種（取り組みのアイデア）	26

第2期安芸市中心商店街等振興計画の策定に当たって

安芸市では、構造的課題である人口減少、高齢化の進展等に加え、県立安芸中学校/高等学校・安芸桜ヶ丘高等学校の統合、市役所庁舎の移転及び統合中学校の開設、高規格道路の整備進展等により、人の流れや商業環境が急激に変わりつつあります。

こうした変化に対応するため、中心商店街等及び周辺事業者、商工会議所、観光協会、行政等で構成する「安芸市中心商店街等振興協議会」（以下「協議会」という。）は、令和4年5月に「安芸市中心商店街等振興計画」（以下「振興計画」という。）を策定しました。その後、アクションプラン（行動計画）に掲げた各種事業を地道に取り組んだ結果、その内容が評価され令和6年7月、経済産業省「地域にかがやくわがまち商店街2024」に選定されました。

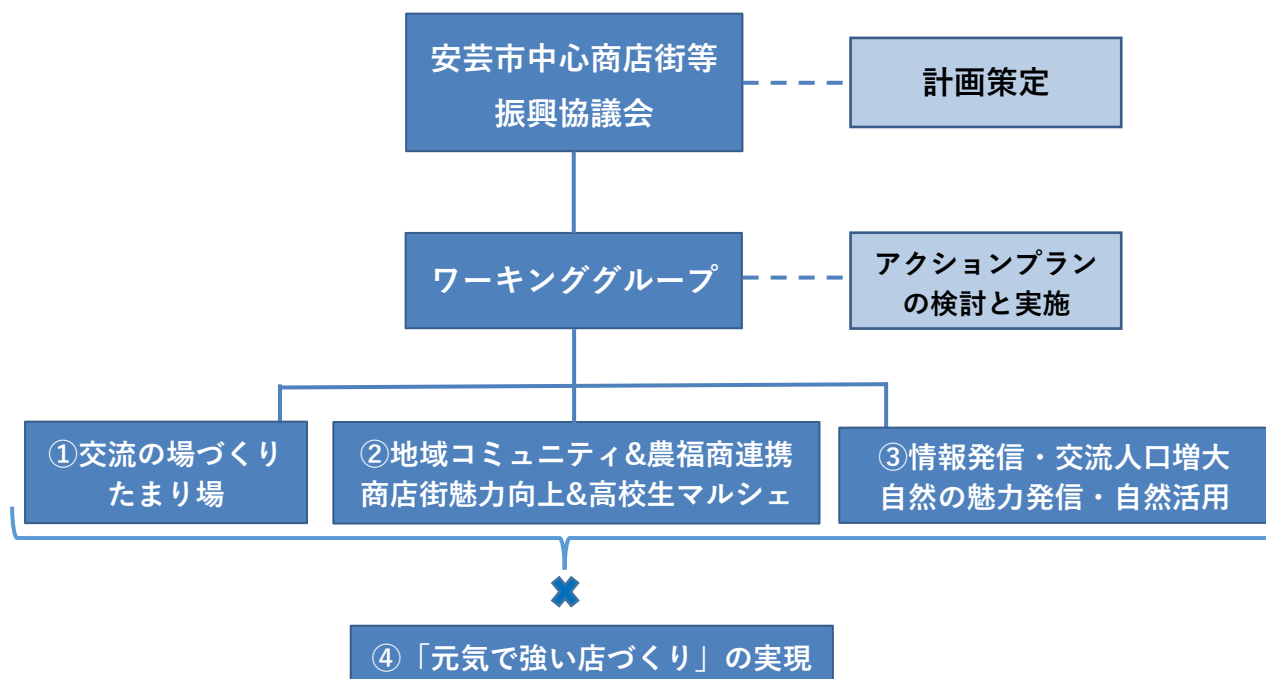
この間、振興計画対象エリアでは、長年親しまれてきたサンシャイン港町店、TSUTAYA 安芸店等が惜しまれつつ閉店した一方で、コンタクトセンター(株)エバーユニック安芸が業務を開始し、今後は旧市役所庁舎跡地活用との連携が期待されています。

こうした状況下、協議会はワークショップを再開し、第1期振興計画のふりかえり、アクションプランの見直し等を行い、このたび第2期振興計画を策定いたしました。

これまで同様、事業者、市民、関係機関、行政の皆さまと共に、計画に基づきPDCAサイクルを回しながら取り組みを推進し、中心商店街等の「日常的なにぎわいの実現」を目指していきます。

令和7年3月 安芸市中心商店街等振興協議会

【安芸市中心商店街等振興協議会の体制図】



第1章 第1期安芸市中心商店街等振興計画の取り組み状況

1. たまり場

令和4年5月、ワークショップ「交流の場づくりグループ」のメンバーが中心となり、月1回10～20人が商店街店舗等を集まり、情報・意見交換する交流の場「たまり場」を開設しました。毎回、当日のメインスピーカー「本日の主役」が自己紹介、取り組んでいること、取り組みたいこと等を発表するとともに、振興計画のフォローアップを行うなど活発な議論が行われました。これまでに32回開催(延べ571人が出席)し、同計画推進のエンジン役を担ってきました。

3年間継続してきたなかで、出席メンバーが企画、運営する事業(東洋的漫遊祭、かがりビーチ、あきコス☆など)への協力・応援体制が構築されました。また、異業種・異分野・異世代の多様な経験、情報、人脈を持つメンバーが集まっていることから、移住者・Uターン者・市外住民等の出席が増えるなど、安芸市のことを効果的・効率的に知る役割も担いはじめています。

なお、口コミや紹介で参加者は増え、LINE上(登録者56人)でも活発な情報交換・共有がされています。

ワークショップ(令和6年12月18日(水))でのふりかえり

「人が集まる仕組みができた」、「活気ある会ができた」、「安芸市のこと、市民レベルで人を知るきっかけになった」、「ここまで継続できたことは評価したい」等の意見があった一方、「発表者に限界がある」、「参加者が固定化しつつある」、「内容のマンネリ化」等の課題が挙げられました。

今後に向けては「たまり場を楽しい場所にし、続けていく仕組みが必要」とし、「移住者や企業経営者などのスピーチ」や「現場見学、旅行合宿」等を行うほか、「メンバーとの連携による事業創造、新しく何か取り組んでみる」という交流から連携への進展を期待する意見もありました。



たまり場 in すまいるあき



たまり場 in 満子の部屋

たまり場 7ルール

- 1 誰でも参加できる
- 2 毎月第4水曜日に開催
- 3 テーマ(自由)は「本日の主役」が決める
- 4 「本日の主役」が次回の「本日の主役」を指名
- 5 会場は振興計画エリア内のどこか
- 6 飲食物の調達も振興計画エリア内のお店
- 7 高校生参加の場合、大人のアルコールは19時30分以降

たまり場の開催状況

	開催日	開催場所	テーマ(メインスピーカー、敬称略)	参加者数
1	R4/5/27(金)	満子の部屋	たまり場命名、7ルールの決定(島崎江里子)	16 人
2	R4/6/22(水)	安芸商工会議所	安芸市中心商店街等振興計画のお披露目会(濱田学)	38 人
3	R4/9/28(水)	すまいるあき	取り組み報告(参加者全員)	16 人
4	R4/10/26(水)	すまいるあき	TSUTAYA の店づくりの考え方(近森淳治)	11 人
5	R4/11/29(火)	すまいるあき	安岡重機の事業紹介(安岡浩史)	14 人
6	R4/12/21(水)	すまいるあき	大野自動車の事業紹介(大野恵三)	12 人
7	R5/1/25(水)	カメラの愛光	安芸本町商店街のこと(松本健) 高知信用金庫 創業 100 周年事業(石川広樹)	17 人
8	R5/2/22(水)	すまいるあき	地域と高校生と私(竹崎仁)	15 人
9	R5/3/22(水)	すまいるあき	ゴスペルライブイベント Easter High(中西倫子)	14 人
10	R5/4/26(水)	すまいるあき	東部総合建物管理の事業紹介(藤崎至誠)	17 人
11	R5/5/24(水)	すまいるあき	安芸高校と地域活性化(山本圭子)	15 人
12	R5/6/28(水)	すまいるあき	牧野マップ、みんなのジモッチャ(石川広樹)	15 人
13	R5/7/26(水)	すまいるあき	安芸市と私(佐藤倫与)	14 人
14	R5/8/22(火)	安芸商工会議所	安芸市中心商店街等振興計画のこれから(井上一仁)	32 人
15	R5/9/27(水)	すまいるあき	はぐみ農園の事業紹介(西内直彦)	11 人
16	R5/10/25(水)	すまいるあき	安芸市に移住して(松村春恵)	16 人
17	R5/11/29(水)	すまいるあき	東洋的漫遊祭の報告(仙頭杏美)	16 人
18	R5/12/26(火)	すまいるあき	高知・ベトナム 経済交流ミッション団(安岡浩史)	11 人
19	R6/1/31(水)	すまいるあき	安芸グループふぁーむの新たな挑戦(小松哲也)	15 人
20	R6/2/28(水)	すまいるあき	地域おこし協力隊(長友美智子)、あきコス☆の報告(小松八月)	13 人
21	R6/3/27(水)	すまいるあき	輪島市災害支援の活動報告(川口正義)	20 人
22	R6/4/24(水)	すまいるあき	高知中山間地域の「こころ」(末廣佳帆理)	15 人
23	R6/5/30(木)	すまいるあき	大北果樹園の事業紹介(大北和) For the future の取り組み(板倉良治、仙頭杏美ほか)	22 人
24	R6/6/27(木)	すまいるあき	取り組み報告(参加者全員)	16 人
25	R6/7/17(水)	すまいるあき	あきコス☆の報告(樋口佳苗)	19 人
26	R6/9/18(水)	すまいるあき	安芸市文化財保存活用地域計画(中村茂生)	9 人
27	R6/10/23(水)	すまいるあき	東洋的漫遊祭の案内(山田和子、仙頭杏美)	15 人
28	R6/11/20(水)	すまいるあき	東洋的漫遊祭の報告(山田和子)、ごなコス☆の紹介(樋口佳苗)	20 人
29	R6/12/18(水)	安芸商工会議所	第2期安芸市中心商店街等振興計画策定 第1回ワークショップ	34 人
30	R7/1/20(月)	安芸商工会議所	第2期安芸市中心商店街等振興計画策定 第2回ワークショップ	35 人
31	R7/2/26(水)	満子の部屋	今後の「たまり場」(井上一仁)、駄菓子等販売事業(島崎江里子)	19 人
32	R7/3/27(木)	錆と煤	コールセンター(株)エバーユニークの事業紹介(島海健)、 錆と煤の事業紹介(山田和子)、振興計画策定報告(井上一仁)	19 人
			合 計	571 人

安芸市中心商店街等振興協議会事務局作成

2.軽トラマルシェ

令和4年5月、ワークショップ「イベントグループ」の発案で、過去に行われていた日曜市のようなにぎわいイベントを構想していた安芸本町商店街と「農福連携」を推進する一般社団法人こうち絆ファームTEAMあき(就労継続支援B型事業所)が中心となり、軽トラマルシェ実行委員会(代表:安芸本町商店街振興組合副理事)を立ち上げました。令和4年6月、TEAMあき駐車場にて軽トラマルシェを開催し、軽トラに山積みされたナス(夏)、ボンカン(冬)は名物となり、年2回のペースでマルシェを継続されています。

令和5年1月に実施した第2回軽トラマルシェでは、近接するすまいるあきとの2会場での開催が実現したほか、安芸本町商店街スタンプラリーの景品抽選会場として集客に貢献(第1回507人⇒第2回1,000人)するなど、商店街のにぎわい創出、農福連携の認知度向上、地元特産品のナスやボンカンの販売促進等につながりました。

取り組みに当たっては、地元農家の協力を得て、軽トラに積むナスの収穫や朝どれ野菜の種まき・収穫を、実行委員メンバー等が行うなど準備段階から「農福連携」が地道に行われました。

さらに、第2回以降、安芸中学校、安芸高校や高知工科大学の運営協力、法務省高松矯正管区の出店などの新たな連携が始まり、令和6年1月に実施した第4回軽トラマルシェでは、県内外の若者約200人が安芸市に集合したコスプレイベント「あきコス☆」との連携・異分野交流が実現しました(第4回3,412人)。



ナスの詰め放題



ボンカンの詰め放題



ナス煮(大鍋)



スタンプラリー景品交換



農福連携のパネル紹介



あきコス☆とのコラボ



野菜の種まき



朝採れ野菜の収穫

ワークショップ(令和6年12月18日(水))でのふりかえり

「農福商連携の取り組みを基軸に軽トラマルシェを開催し、定着してきた」、「安芸市は農福商連携では先進地であり、予算がない中でイベントを継続して開催できた」と評価した一方、「イベントのマンネリ化」、「商店街を巻き込むことが難しかった」、「広告宣伝が十分にできておらず、意外と知られていない」等の課題が挙げられました。

今後の展望として、「本町商店街における空き店舗を活用したイベントを開催し、本町商店街に人を呼び仕掛けづくりを行う」、「本町商店街に人が通ること、人が行き交うことをもっと目指したい」とし、「サッカー（ユナイテッド）や野球の選手を呼び」、「安芸市外の集客力のあるキッチンカーを呼び」、「人気上昇中の赤野獅子舞にイベントの開始時間に舞ってもらう」「あきコス☆などのイベントとのコラボレーション」、「高齢者層→カラオケ大会、親子→ものづくり教室 などターゲットを設定したイベント」、「空き店舗でのフリーマーケット開催（月1回程度）」などのアイデアが出されました。

また、「農福商連携の取り組みを中心にどんどん人を巻き込みながら議論していきたい」、「施設利用者も出店者やお客様として参加したい」とし、「ジビエ料理の紹介、山間部の婦人部等を招いた料理の実演」、「放置されている柿やみかんを加工品にして販売する」、「なす、ぼんかんの詰め放題以外にも、しょうが、シシトウなどは行えないか」というアイデアが出され、「軽トラが本町に並んで、農家の方が売る風景を期待」する意見も出されました。

軽トラマルシェの実施状況

	実施日	場 所	内 容	来場者数	備 考
1	令和4年 6月26日(日)	こうち絆ファーム	ナス詰め放題、JA 女性部、本町ナス焼きそば、しいたけ、土佐備長炭 BBQ、キッチンカー 等	507 人	
2	令和5年 1月29日(日)	こうち絆ファーム すまいるあき 1F	ボンカン詰め放題、ナス煮(大鍋)、朝採れ野菜、JA 女性部、刑務作業製品、高校生マルシェ、健康チェック、キッチンカー 等	1,000 人	安芸本町商店街 ｽﾀｯﾌﾟﾗﾘｰと連携
3	令和5年 6月25日(日)	こうち絆ファーム すまいるあき 1F	ナス詰め放題、JA 女性部、TSUTAYA、高知工科大学、高校生マルシェ、健康チェック、本町やきそば、キッチンカー 等	1,243 人	
4	令和6年 1月28日(日)	こうち絆ファーム すまいるあき 1F	ボンカン詰め放題、JA 女性部、高校生マルシェ、健康チェック、刑務作業製品、キッチンカー 等	3,412 人	あきコス☆と連携 能登半島地震募金
5	令和6年 6月30日(日)	こうち絆ファーム	ナス詰め放題、JA 女性部、ニコスマイルクッキー、本町やきそば、キッチンカー 等	294 人	終日の雨
6	令和7年 2月9日(日)	こうち絆ファーム	ボンカン、ナスの天ぷらうどん、刑務作業製品、JA 女性部、キッチンカー 等	1,081 人	きさらぎ市と連携

安芸市中心商店街等振興協議会事務局作成

3.高校生マルシェ

高校生マルシェは、安芸高校生が空き店舗(旧たまや、すまいるあき 1F)を活用し、店舗企画、仕入れ、販売等を行うイベント型マルシェ(2 回実施)からスタートしました。当初はワークショップの「商店街の魅力向上グループ」メンバーから提供された古着やバザー商品を販売していましたが、メンバーが中心となり結成した商店街魅力向上委員会(代表:安芸本町商店街振興組合副理事)の協力により、商品開発・出店販売を行うプロジェクト型マルシェ(8 回出店)に進化してきました。この間、デザインの専門家のアドバイスを得ながら、高校生マルシェのロゴマークを作成し、チラシや商品に活用しました。10 回のマルシェ実施により少額ながらも自己資金(運転資金)を確保するなど、現在も継続に向けての試行錯誤がなされています。なお、高校生が商店街魅力向上委員会の企業、店舗のアドバイスを受けることで、企業経営に触れる取り組みにもなっています。



店舗づくり in 旧たまや



店舗づくり in すまいるあき



若者が来店



ミーティング



フォトスポットで記念撮影

ワークショップ(令和6年12月18日(水))でのふりかえり

高校生から「自分たちの町を盛り上げていく、自分たちの考えでイベントに出店することを3年間続けて来られた」結果、「商店街の新たな魅力を知ることができた」、「学校以外で交流できる場があることが良かった」、「高校生が地域とつながりを持つことができた」、「様々なイベントを続けることによって人流が生まれることから、継続して実施することが大切だと分かった」との感想がありました。

一方、「世代を超えたつながりが弱いような気がする(高校生と高齢者など)」、「マルシェに参加する高校生が減ってきている」、「本町商店街がメインの活動というイメージを持たれている方が多く、PR 不足を感じた」という反省点に加え、「高校生マルシェで出品できる品目が少ないため、地域の事業者等との連携が必要」、「商店街に人通りが少ないため、モチベーションが上がりづらいという声もある」、「イベント開催日は日曜が多く、本町商店街のお店は定休日ということもあり、イベント自体が商店街に好影響を及ぼしていない可能性もある」等、商店街、事業者に対する意見もありました。

今後の展望として、「地域とのつながりをたくさん持ち、営業許可等の資格を持っている方や施設を貸し出してくれる方の協力を仰ぐことで、多世代との交流を実現する」、「商店街にこだわらず、高校生と地域がつながりを持てるようなイベントを継続して開催していきたい」「ターゲットを明確にしたイベント等の開催(子供向け、大人向けなど)」とし、具体的には「小さい子供からお年寄りの方々まで様々な交流を増やすために、保育園や介護施設等にお邪魔して、出張高校生マルシェを開催」したり、「安芸市の観光スポットである土居廓中周辺でのイベント」、「安芸市が好きになるきっかけになるような子供向けイベント」、「大人向け、高校生向けの麻雀体験イベント」等のアイデアが出されました。

高校生マルシェの実施状況

	実施日	場 所	内 容	参画人数	備 考
1	令和4年10月16日(日)	旧たまや	古着、バザー商品、わたあめ等の販売、 ヨーヨー釣、フォトスポット等の企画	18人	単独開催
2	令和5年1月29日(土)	すまいるあき 1F	古着、バザー商品等の販売	9人	軽トラマルシェに出店
3	令和5年3月18日(土)	すまいるあき 1F	古着、バザー商品、マシマシ等の販売、 フォトスポット、ペットボトルリサイクル等の企画	15人	単独開催
4	令和5年6月25日(日)	すまいるあき 1F	わたあめアイスの開発・販売	35人	軽トラマルシェに出店
5	令和5年9月30日(土)	すまいるあき 1F	ソーダ水の開発・販売	22人	東洋の漫遊祭に出店
6	令和5年11月23日(木、祝)	すまいるあき 1F	わたあめ、お汁粉の開発・販売	15人	すまいるマルシェに出店
7	令和6年1月28日(日)	すまいるあき 1F	わたあめ、雪見大福入りお汁粉の開 発・販売	15人	軽トラマルシェに出店
8	令和6年8月17日(土)	すまいるあき 1F	射的アイス(トビ`ツグ`付)の開発・販売	20人	すまいるマルシェに出店
9	令和6年10月27日(日)	すまいるあき 1F	射的アイス(トビ`ツグ`付)の開発・販売	20人	東洋の漫遊祭に出店
10	令和7年2月9日(日)	安芸本町商店街	射的味噌汁(具材入り)、コーンスープ の開発・販売	20人	きさらぎ市に出店

安芸市中心商店街等振興協議会事務局作成

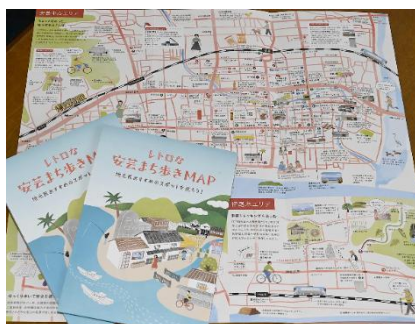
※参画人数はイベントの企画・運営に携わった高校生の人数

※すまいるマルシェは安芸商工会議所主催イベント、きさらぎ市は安芸高校・安芸本町商店街振興組合共催イベント

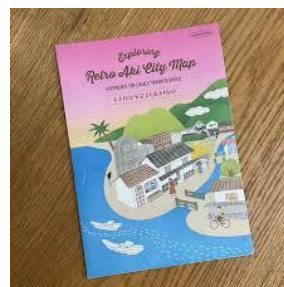
4.情報発信・交流人口増大

(1)レトロな安芸まち歩きマップ(日本語版、英語版)

安芸市の魅力(歴史的町並み、美味しいお店、豊かな自然等)を発信しようと、ワークショップの「情報発信グループ」メンバーが中心となり、市民グループ For the future(代表:ギフトのさとう) を結成しました。For the future は、令和5年3月、安芸高校生を含む住民ライター9人が取材・執筆した「レトロな安芸まち歩きMAP」を1万部作成し、観光客、移住者、市民等に配付するとともに、ネット上でも提供(ダウンロード可)しています。本MAPは、高校生を含む若者の視点で街の魅力を発掘・取材・掲載し、これまでにない斬新さが好評となり、令和5年度には増刷され、英語バージョンも制作しました。



レトロな安芸まちあるきマップ



英語バージョン

ワークショップ(令和6年12月18日(水))でのふりかえり

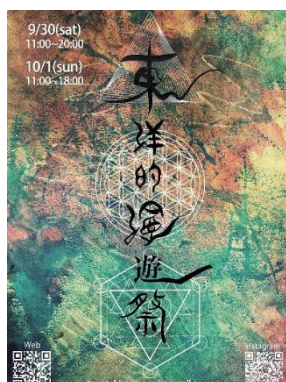
まち歩きマップを作成するという目標を達成し、マップが足りなくなる程、手に取ってもらうことができ、一定の情報発信が出来たといえます。

(2) 東洋的漫遊祭

ワークショップに参加した若手メンバーが中心となり結成した市民団体 For the future が、令和 4 年 10 月、商店街を含む市内の複数会場を周遊する食と音楽の祭り「東洋的漫遊祭」を企画・開催しました。

五藤家屋敷から土居武家屋敷、本町、海岸通り、安芸の海の魅力を感じてもらい、アジアの乗り物「トゥクトゥク」で回遊するなど、安芸市全体で盛り上がる画期的なイベントになりました。また、海では「浜弁当」を楽しみ、高校生によるイベント「かがりビーチ」で海の魅力を再発見してもらうなど、街・自然・食・音楽の融合で、市内外から多数の流動人口を生み出しました。

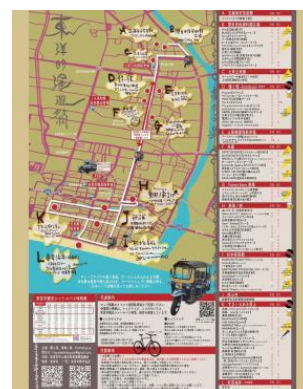
令和 6 年 10 月に開催した第 3 回東洋的漫遊祭では、安芸市内の 6 つのメイン会場に加え、安芸市内のアジア料理店などが参加するとともに、20 組以上が出演する音楽ライブやアート展、ワークショップなどが行われました。さらに、後夜祭として” 入場料が野菜” の食と音楽のイベント「Give me vegetable」が開催(高知県内で初開催)されました。



パンフレット(表)



人気のトゥクトゥク



パンフレット(裏)



米蔵会場



錆と煤会場



歴史民俗資料館広場



すまいるあき屋上

ワークショップ(令和 6 年 12 月 18 日(水))でのふりかえり

情報発信上の課題として、「Instagram やポスターなど、チラシの効果はある程度実感することができた」ものの、「Instagram や HP 等の知名度が低い」、「ターゲットの設定が曖昧」、「継続した発信ができず、どれ位訴求できているのか不明確」であり、今後は「SNS を使える人材を増やすとともに、広報のかたちを検討していくべき」という意見がでました。

また、運営上の課題として、「イベント運営に携わる人材不足」、「イベント開催について協力体制の構築が弱かった」、「イベント運営やマップ制作に関して、資金繰りが大変。協賛金に対する理解が得づらい」が挙げられました。

イベントの先を見すえた展望として、「まちづくりファンドや人材バンクなど、安芸市内にいるスペシャリストたちのネットワークを広げて、交流する場（昼の拠点→新しい情報が得られる場、夜の拠点→単発バルなど交流の場 など）を作る。」など「安芸市内の人々の活動が見える化し、人と人をつなげていきたい」、また、「小さいイベントを重ねていって、日頃から安芸市の魅力を伝えていく活動」、「伝統的な文化財や施設等の活用、拠点を増やしていく活動」を通じて、「安芸市への移住や起業などにつなげていきたい」などの意見がでました。

東洋的漫遊祭の実施状況

	開催日	メイン会場	来場者数	備 考
1	令和4年10月22日(土) ～23日(日)	錆と煤、米蔵、東風ノ家	1,000人	・テイクアウト料理を「五藤家屋敷飲食ブース」、「浜弁当テント」で食事 ・かがりビーチと連携
2	令和5年9月30日(土) ～10月1日(日)	五藤家安芸屋敷、歴史民俗資料館広場、土居公民館、錆と煤、土居郵便局駐車場、米蔵、Forest farm 倉庫、東風ノ家、杉本家客殿、妙山寺、すまいるあき、安芸海岸	1,300人	・アジア料理店やクラフト店が多数出店 ・ライブ音楽やDJによるパフォーマン ・かがりビーチと連携
3	令和6年10月26日(土) ～27日(日)	錆と煤、すまいるあき、米蔵、東風ノ家、Forest farm、山のくじら舎	1,420人	・入場料 500 円 ・アジア料理店やクラフト店が多数出店 ・ライブ音楽やDJによるパフォーマン ・後夜祭 Give me vegetable を開催

安芸市中心商店街等振興協議会事務局作成

5.自然活用

(1)浜弁当

浜でお弁当を食べる「浜弁当」という地域の風習を復活させるため、安芸本町商店街キッチンカーイベント(令和4年5月)や東洋的漫遊祭(令和4年10月、令和5年9～10月)と連携して、安芸の浜辺でゆったりと食事を楽しんでいただく取り組みを行いました。



空と海と浜の会場



県外からの訪問者

ワークショップ(令和6年12月18日(水))でのふりかえり

浜辺を訪れた方は、親子で食事をとったり、流木で遊んだり、読書をしたりと自由に楽しんでいたのが印象的でしたが、イベント会場を離れて浜辺で食事をする動機づけが弱かったことが課題として残りました。取り組みの過程で、人それぞれの「浜弁当」があることがわかってきたので、今後は「浜弁当の思い出」について調査し、「浜弁当の復活」に向けて情報発信するアプローチも考えられます。

(2)かがりビーチ

令和4年6月、ワークショップの「自然グループ」に参画した高校生メンバーが「浜 zone prime2022 実行委員会」を立ち上げ、安芸の浜の魅力を発信する取り組みを開始しました。その第一弾として、浜でかがり火をたくイベント(かがりビーチ)を企画し、たまり場でプレゼンテーションを行いました。たまり場メンバーから「燃料として検討していた流木は湿気を含んで燃えにくく、燃やした場合ダイオキシンが発生する可能性がある」との指摘があり、メンバー提供による端材を使用することになりました。

かがり火台は高校生が溶接作業を行い制作し、実施前には着火テストと海岸清掃を行うなどの準備ののち、令和4年10月22日(土)、東洋的漫遊祭とのコラボイベントとして第一回かがりビーチが開催されました。なお、当日の燃料搬送、着火指導をたまり場メンバーが行いました。

令和6年11月9日(土)に実施した第3回かがりビーチでは、安芸高校吹奏楽部の演奏やDJ進行に加え、赤野獅子舞の演舞が実現し、非日常的な時間を体験しました。



着火指導



生徒が着火



暗闇に映えるかがり火



安芸高校吹奏楽部の演奏



赤野獅子舞の演舞

ワークショップ(令和6年12月18日(水))でのふりかえり

かがりビーチについては、「安芸高校吹奏楽部や赤野獅子舞とのコラボレーションもあり、想像以上の集客が可能となった」、「普段光がない場所がキラキラしていて、光を使ったイベントは相性が良いと感じた」という感想がありましたが、「かがりビーチにキッチンカーを呼びたかったが、実現できなかった」、「ポスターを制作したが、うまく活用できなかった」「かがりビーチと浜弁当の関連付けが難しかった」という課題に加え、「かがりビーチは安芸高校の授業で取り組んでおり、今後イベントの主体が誰になるのか検討が必要」といった運営上の課題も挙げられました。

また、「安芸市の1番の魅力である自然について、少しずつではあるが良さが伝わっていると実感した」が、今後「かがりビーチのほかに関ヶ谷でできること、自然を楽しめる方法がないか検討」するために「安芸の浜と他の海岸、浜との違いを知るための調査研究」、「山・川・海の安芸市流域との連携」の必要性が指摘されたほか、「遊泳禁止の海を逆手にとる取り組み（海の家など）」、「灯籠づくりといったものづくり体験との連携」、「音楽、暗闇、光の活用」などのアイデアが出されました。

(3) アキラボ(自然環境調査)

For the future が、安芸のまだ知られていない魅力を発掘し、活用していくために架空の安芸の研究室「アキラボ」を設置し、自然科学分野の専門家と市内中高生等と一緒に、安芸の自然について、調べ、新発見を楽しみ、活かし方を考える「自然環境調査」を行いました。

調査は令和5年9月から5回にわたって行われ、そのときの様子はWebマガジン「アキノキオク」で紹介されています。



安芸海岸で星座観測



東山森林公園を散策調査

ワークショップ(令和6年12月18日(水))でのふりかえり

「自然環境調査を継続するための資金確保」が今後の課題として挙がりましたが、「安芸市は天体望遠鏡やプラネタリウムなどの専門メーカー五藤光学研究所(府中市)の創業者・五藤齊三さんが生まれたところであり、星をテーマにした自然観察会を継続してほしい」など継続実施への意見もありました。

アキラボの実施状況

テーマ	実施日	講師(敬称略)	参加者	内 容
星	令和5年9月3日(日)	イワシロ アヤカ (sorashiro/星先案内人)	7人	安芸海岸から見える夏の星座を観測
水辺の 生き物	令和5年10月15日(日)	中地 シュウ (海辺の自然史研究舎)	9人	安芸市街地周辺(安芸川と貝谷川)の水辺に 生息する虫や魚などの生き物を調査
野鳥	令和5年12月10日(日)	谷岡 仁 (日本野鳥の会高知支部)	10人	安芸川・江ノ川に飛来する渡り鳥の種類を 調査
森と動物	令和6年2月23日(金・祝)	森下 嘉晴 (高知中部森林管理署)	22人	市街地すぐ近くの自然スポットとして伊尾 木洞から東山森林公園コースを開拓
森と動物 Ⅱ	令和6年12月14日(土)	森下 嘉晴 (高知中部森林管理署)	15人	東山森林公園で動物の生活の跡や多様な植 生を散策調査

安芸市中心商店街等振興協議会事務局作成

6.全国「商い甲子園」大会

コロナ禍により3年連続中止を余儀なくされましたが、令和5年8月19日(土)、4年ぶりに第16回大会を開催しました。

令和6年8月24日(土)の第17回大会では、炎天下、3県7高校13チーム、約100名の高校生がそれぞれの地域の魅力を再発見し、スタッフの想像をはるかに越えた質・量の商品を準備し、多様な販売、サービス活動を展開しました。これにあわせて、商い甲子園を応援する「安芸本町商店街スタンプラリー」をはじめて実施し、来場者の皆様がたくさんのお買い物をして大会を盛り上げました。

また、地元・安芸高校がポスター、チラシ、ステージ看板の制作や店舗抽選会の運営に加え、大会当日、約40名の生徒が運営協力しました。さらには三菱グループの創始者“岩崎弥太郎”の誕生地・安芸市での大会に対して、三菱広報委員会から協賛いただいたことも次につながる出来事でした。

一方で、出場チーム数は第2回大会以降で最低水準となり、また、近年の酷暑により、生徒、お客様、運営スタッフ等の健康面のリスクが増加しています。このため、商い甲子園実行委員会では、令和7年の第18回大会を10月26日(日)に開催することを決定し、大会内容を見直すことになりました。



優勝チームの店舗



安芸の商品をPR



出場生徒の記念写真

7.アクションプランの種

第1期振興計画ではアクションプランに反映されなかった取り組みのアイデアを「アクションプランの種」と称し、参考資料として掲載しました。このうち令和4～6年度に動きのあった項目は下表のとおりです。

アクションプランの種の実現状況

	アクションプランの種	取り組み内容
1	商い甲子園やその他イベント(クリスマス、コンサート、日曜市等)を定期的開催(広い通りがあるので)	土佐の町家ひなまつり、軽トラマルシェ、商い甲子園、ハロウィン等を定期的開催
2	安芸市の自然、芸術、食べ物を利用した祭り「安芸まるごとフェスタ」を開催	安芸市内を回遊する食と音楽のイベント「東洋的漫遊祭」を開催
3	安芸でミツカンフェアを開催	第6回軽トラマルシェ等でミツカンの「かおりの蔵・彩りゆず」を提供
4	安芸は街ぶらでできるコンパクトな街だということをPR	「レトロな安芸まち歩きマップ」を作成し、PR
5	注目度の高い「農福連携」などと商い甲子園が連携	第17回全国「商い甲子園」大会前日、農福連携講座を実施し、大会出場する県外生徒が受講
6	空き店舗を活用して子どもの遊び場や駄菓子を買うことができる場所の開店	ワークショップメンバーが駄菓子屋の開業を検討
7	商福連携の実現	農福商連携「軽トラマルシェ」を6回開催し、農福連携について中高生がパネル紹介
8	商店街内にシェアオフィス等、多目的スペースの活動拠	満子の部屋にて、ひな祭り、ハロウィン等のイベン

	点を作って、イベントや勉強会を定期的を実施	トヤタマリ場を実施
9	起業したい人をサポート（交流・意見交換）する場所を設置	たまり場で起業希望者と意見交換等を実施
10	商い甲子園で他の地域の活動や行事をPR	第17回大会で、能登半島地震の被災地・輪島高校の復興支援活動を紹介
11	星空を利用して、空観察の中核となる施設を作り星空観察を実施	令和5年9月、安芸海岸から見える夏の星座を観測(アキラボ)
12	振興計画エリア内を流れている江ノ川をキレイにして、蛍やトンボなど日本の四季を感じられる風景を実現(環境づくり)	令和5年12月、安芸川・江ノ川に飛来する渡り鳥の種類を調査(アキラボ)
13	中心商店街の空き店舗を活用し、安芸のスイーツ(フィナンシェ、チーズケーキ、シフォンケーキ、焼きなすアイス、芋けんぴ、誉ヨウカン等)が同時に味わえるカフェを開店	(空き店舗活用ではないが)令和5年6月11日(日)と9月24日(日)に、安芸高校生が東風ノ家で安芸のスイーツを提供する1日カフェ「Café Detour」を実践

安芸市中心商店街等振興協議会事務局作成

8.ふりかえりの総括

(1)成果指標の達成状況

指 標	目標値	実 績 (令和4年度)	実 績 (令和5年度)	実 績 (令和6年度)
交流会の実施回数 及び 参加者数	12回 延べ300人 (令和6年度)	9回 延べ153人	12回 延べ195人	11回 延べ223人
中心商店街等での イベント集客数	3,500人 (令和6年度:商い甲子園 1,500人 軽トラマルシェ 2,000人)	3,413人 (軽トラマルシェ等 2,007人 高校生マルシェ 406人 東洋的漫遊祭 1,000人)	6,723人 (商い甲子園 1,000人 軽トラマルシェ等 4,655人 東洋的漫遊祭 1,300人)	3,545人 (商い甲子園 750人 軽トラマルシェ等 1,375人 東洋的漫遊祭 1,420人)
イベント等で活用した 空き店舗数	3店舗 (令和4～6年度累計)	2店舗	1店舗	1店舗
歩行者通行量(休日)	400人/日 (令和6年度調査)	-	-	91人 (11月10日(日))
中心商店街等への 新規出店者数	5店舗 (令和4～6年度累計)	5店舗	4店舗	1店舗
グーグルマップ店舗登録数	15店舗 (令和6年度末)	-	-	-
安芸本町商店街振興組合の Instagram フォロワー数	1,500人 (令和6年度末)	955人 (令和4年度末)	1,050人 (令和5年度末)	1,283人 (令和6年度末)

(2) 人的つながりの拡大

振興計画を推進するなかで、異業種(農業、飲食業、工業、飲食業、サービス業、金融業等)、異分野(観光、福祉、教育、行政等)、異世代(生徒・学生、若者、高齢者等)の連携が始まりました。特に、「高校生マルシェと軽トラマルシェ、東洋的漫遊祭」、「軽トラマルシェとあきコス☆、安芸本町商店街スタンプラリー」、「東洋的漫遊祭とかがりビーチ」などの各事業間の連携やたまり場における継続的な情報交換により、人的つながりがこれまで以上に拡大しました。

(3) 安芸高校の貢献

本振興計画の特徴として異業種・異分野・異世代の連携、とりわけ安芸高校生が積極的に参画していることが挙げられます。これは安芸本町商店街と安芸高校が平成 20 年から開催している全国商い甲子園大会のなかで協力関係を地道に築いてきたことの成果と考えられますが、安芸高校(旧安芸高校、旧安芸桜ヶ丘高校)の先生方のご理解と生徒の取り組む姿勢は、他の地域と比較しても特筆すべきことであり、振興計画の推進にはなくてはならない存在になっています。

安芸高校の事業への参画状況

事業	参画日	人数	参画内容
第 2 回軽トラマルシェ	令和 5 年 1 月 29 日(日)	17 名	ナス煮準備、会場設営、農福連携説明、スタッフ ライ-抽選会等
第 4 回軽トラマルシェ	令和 6 年 1 月 28 日(日)	10 名	会場設営、農福連携説明、能登半島地震募金呼びかけ等
第 5 回軽トラマルシェ	令和 6 年 6 月 30 日(日)	5 名	会場設営、農福連携説明等
第 1 回高校生マルシェ	令和 4 年 10 月 16 日(日)	18 人	旧たまや活用、古着・わたあめ販売 等
第 2 回高校生マルシェ	令和 5 年 1 月 29 日(日)	9 人	軽トラマルシェ出店、古着販売 等
第 3 回高校生マルシェ	令和 5 年 3 月 18 日(土)	15 人	すまいるあき 1F 活用、古着販売、アトラクション 等
第 4 回高校生マルシェ	令和 5 年 6 月 25 日(日)	35 人	軽トラマルシェ出店、わたあめアイス販売
第 5 回高校生マルシェ	令和 5 年 9 月 30 日(土)	22 人	東洋的漫遊祭出店、ソーダ水販売
第 6 回高校生マルシェ	令和 5 年 11 月 23 日(木、祝日)	15 人	すまいるマルシェ出店、わたあめ、お汁粉販売
第 7 回高校生マルシェ	令和 6 年 1 月 28 日(日)	15 人	軽トラマルシェ出店、わたあめ、雪見大福入りお汁粉販売
第 8 回高校生マルシェ	令和 6 年 8 月 17 日(土)	20 人	すまいるマルシェ出店、射的アイス(トッピング付)販売
第 9 回高校生マルシェ	令和 6 年 10 月 27 日(日)	20 人	東洋的漫遊祭出店、射的アイス(トッピング付)販売
第 10 回高校生マルシェ	令和 7 年 2 月 9 日(日)	20 人	きさらぎ市出店、射的味噌汁(具材入り)、コーンスープ販売
レトロな安芸まち歩きマップ	令和 4 年度	5 人	企画、店舗取材、原稿作成 等
第 16 回全国商い甲子園大会	令和 5 年 8 月 19 日(土)	60 人	企画・運営、設営、ポスター・チラシ案作成 等
第 17 回全国商い甲子園大会	令和 6 年 8 月 24 日(土)	40 人	企画・運営、設営、ポスター・チラシ案作成 等
第 1 回かがりビーチ	令和 4 年 10 月 22 日(土)	40 人	企画、海岸清掃、運営 等
第 2 回かがりビーチ	令和 5 年 9 月 30 日(土)	77 人	企画、海岸清掃、運営、吹奏楽部の演奏 等
第 3 回かがりビーチ	令和 6 年 11 月 9 日(土)	84 人	企画、海岸清掃、運営、吹奏楽部の演奏 等

安芸市中心商店街等振興協議会事務局作成

(4) For the future の誕生

ワークショップに参加した若手メンバーが中心となり、市民団体 For the future(代表:ギフトのさとう)を結成し、レトロな安芸まち歩きマップ(日本語版、英語版)を作成したほか、商店街を含む市内の複数会場を

周遊する食と音楽の祭り「東洋的漫遊祭」や高知県東部初のコスプレイベント「あきコス☆」、中・高校生向け地域資源調査&自然観察会「アキラボ」等を実施しました。振興計画のみならず、安芸市の地域活性化の新たな担い手として、今後の躍動、成長が期待されます。

(5) 地域にかがやくわがまち商店街表彰 2024 の受賞

令和 6 年 2 月 6 日(火)、安芸本町商店街を視察・訪問した経済産業省中小企業庁商業課長等と意見交換を行い、安芸本町商店街振興組合と安芸商工会議所が振興計画の取り組みを紹介しました。その後、中小企業庁が新設・公募(2 月 26 日(月)～4 月 8 日(月))した「地域にかがやくわがまち商店街表彰 2024」に、安芸商工会議所が振興計画の 2 年間(令和 4～5 年度)の取り組み内容を「異業種・異分野・異世代の関係づくりから始める商店街活動」として安芸本町商店街振興組合を推薦し、書類審査、ヒアリング審査を経て、7 月に受賞が決定(全国で 10 箇所)されました。

7 月 23 日(火)、経済産業省内で、「地域にかがやく わがまち商店街表彰 2024」の表彰式が開催され、安芸本町商店街振興組合松本健副理事長が齋藤経済産業大臣から感謝状を授与されました。表彰式に続き、受賞者と齋藤経済産業大臣との座談会が開催され、商店街を活かした地域経済の活性化等について意見交換を行いました。



表彰式



齋藤経済産業大臣と松本副理事長



本町商店街で報告

また、10 月 17 日(木)、高知県が主催する商店街等関係者交流会にて、「たまり場」、「軽トラマルシェ」、「高校生マルシェ」、「東洋的漫遊祭など For the future の各種取り組み」を実践者が紹介しました。

さらに、中小企業庁商業課が、受賞者の取組を広く共有し、全国の他の商店街への横展開を図ること等を目的に、受賞商店街への視察・意見交換会を全国 10 箇所で開催することになり、令和 7 年 2 月 12 日(水)、安芸市での視察・意見交換会が行われました。意見交換では、和歌山大学足立基浩教授から、「商店街はエリアを越えてまちのかがやきとコミュニティの継続を担っています。安芸本町商店街が受賞に相応しいと再確認できました。」、「たまり場について『言うは易く行ふは難し』で、全国では同様の取り組みがなかなか続かない。」と高い評価を受けました。



視察風景



満子の部屋を案内



こうち絆ファームを紹介

第2章 第2期安芸市中心商店街等振興計画

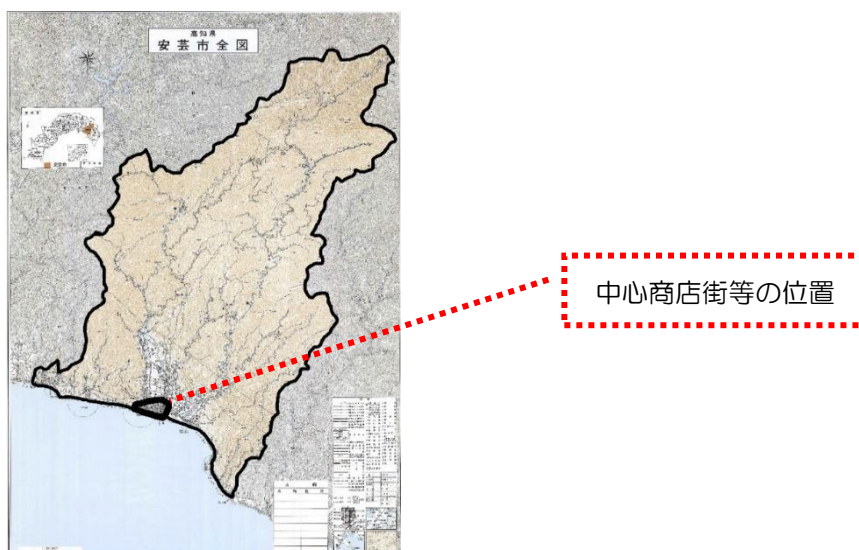
(1)安芸市中心商店街等の位置及び範囲

安芸市は、県都・高知市から東へ約40キロに位置し、南は土佐湾に面し、北は四国山地を背にする美しい自然に囲まれた県東部の中核都市です。安芸市の中心商店街等は、安芸平野の中央・海岸部にあたり、駅や商業施設が集積していることから東部圏域の商業拠点となっています。

本振興計画における中心商店街等は、第1期振興計画に引き続き、球場前駅以東、安芸橋以西、ごめん・なはり線以南の範囲とします。

一方、土居地区には、武家屋敷の面影を今でも残す土居廓中や野良時計などの観光資源、移住者による飲食店の出店や東洋的漫遊祭の開催など、新たな人の流れが出来つつあります。今後は、土居地区とも協力し、新たな交流人口の拡大にも取り組んでいきます。

【中心商店街等の位置】



【中心商店街等の範囲】



(2)計画の位置づけと計画期間

本振興計画は、「安芸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「安芸商工会議所経営発達支援計画」、「高知県産業振興計画」など関連する計画や安芸市が進める「旧庁舎跡地活用策」と連携をとりながら取り組んでいきます。

計画期間は令和4年4月から令和7年3月末までの3年間としていましたが、これまでの取り組みを踏まえ、計画期間を延長し、第2期を令和7年4月から令和12年3月末までの5年間とします。

(3)目標

人口減少が進む安芸市で地域経済の維持、地域コミュニティの充実を図るため、本振興計画では、中心商店街等の「日常的なにぎわいの実現」を目指します。

【目標】 日常的なにぎわいの実現

(4)基本方針

本振興計画は、日常的なにぎわいの実現を目指し、第1期の成果(第1章参照)を踏まえて、以下の基本方針のもと取り組んでいきます。

【基本方針①】 様々な業種・分野・世代の人が交流し、連携できるまち

中心商店街等における集いの場や人と人とのふれあいを大切にした地域コミュニティの充実などを通じて、市民が盛り上がり、助け合い、楽しく過ごせるまちを目指します。

中心商店街等での異業種・異分野・異世代の交流を進めるために、「たまり場」を継続し、にぎわいづくりや新たな取り組みの創出へと繋げます。また、移住・起業家の受け入れや若者が実現したいことに対して、地域を挙げて応援する雰囲気醸成していきます。

【基本方針②】 市内外から訪れたい魅力あるまち

中心商店街等を舞台に、市内外の人が参画するイベントを通じて、多くの人が訪れ、多様な出会いが生まれるまちを目指します。また、地域文化、町並み、個店等の魅力を積極的に情報発信し、認知度・利便性を向上させることで、誰もが気軽に立ち寄ることの出来る基盤を形成します。

【基本方針③】 ゆったりとした時間を過ごせるまち

安芸市民に馴染みの深い浜辺や江の川、風情溢れる昔ながらの町並みなどを活かし、回遊環境を向上させることで、歩きながらゆったりとした時間を過ごせるまちづくりを進めます。

【基本方針④】 元気で強い店が集うまち

貸出可能な空き店舗、空き家の発掘・確保に力を入れ、中心商店街等での新規出店を進めるとともに、魅力的な個店や飲食店の充実を図り、集客力を持つ元気で強い店(※)が集まることで新たな人流の創出を目指します。

※「強い店」とは、「当事者意識、地域貢献意識、柔軟性(次世代人材)、経営基盤のいずれかが強く、中心商店街等のにぎわい創出を目的とした活動を積極的・自主的に行う中心商店街等内の事業者」とします。

(参考:経済産業省近畿経済産業局「関西企業フロンタライン NEXT Vol.24 主体的、持続的な商店街活動のための人材育成について～更なる「強い個店」の創出に向けて～」)

(5)アクションプラン

第1期振興計画では、ワークショップから出てきた多くのアイデア、意見のなかから、はじめの一歩として6つのアクションプランを「取組の源流」に位置づけスタートしました。3年間、ワークショップメンバーが中心となり取り組みを行いましたが、17事業のアクションプランの進捗状況に濃淡が出てきました。そこで、令和6年12月と令和7年1月に再度ワークショップを実施し、第1期のアクションプランをふりかえり、第2期に向けての展望を検討しました。



再開したワークショップ



グループ発表

第2期は「日常的なにぎわいの実現」を目指し、第1期の成果を活かしつつ、新たに安芸市での起業、開業に重点を置く取り組みを実施することとし、ワークショップのファシリテーターが基本方針に沿った13事業のアクションプラン(詳細は参考資料5参照)をとりまとめました。

アクションプラン一覧

	事業名	基本方針
1	たまり場	①④
2	軽トラマルシェ	②
3	高校生マルシェ	②
4	日常の営み+α	②
5	観光コンテンツの造成	②
6	安芸市の魅力の発見・可視化・発信	②③
7	地域文化と歴史を活かしたイベントの再構築	②③
8	海岸のロケーションを活用した催し	③
9	商店街×若者	②
10	全国「商い甲子園」大会	②③
11	起業ニーズの発掘と起業支援	④
12	スタートアップ支援	④
13	伴走型支援	④

(6) 数値目標

本計画では、下記の通り、数値目標を設定し定期的に達成状況を把握するとともに、逐次アクションプランの進捗を確認します。

指 標	実 績 (令和 6 年度)	目標値 (令和 11 年度)
交流会の実施回数 及び参加者数	11 回 延べ 223 人	12 回 延べ 300 人
中心商店街等での イベント集客数	3,545 人 (商い甲子園 750 人、軽トラマルシェ等 1,375 人、東洋的漫遊祭 1,420 人)	4,000 人
イベント等で活用した 空き店舗数	4 店舗 (令和 4～6 年度累計)	5 店舗 (令和 7～11 年度累計)
スタンプラリー参画店舗数	36 店舗 (令和 6 年商い甲子園応援スタンプラリー)	50 店舗 (令和 11 年度実施スタンプラリー)
安芸本町商店街振興組合の Instagram フォロワー数	1,283 人 (令和 6 年度末)	2,000 人 (令和 11 年度末)
中心商店街等への 新規出店者数	10 店舗 (令和 4～6 年度累計)	20 店舗 (令和 7～11 年度累計)
商店街(※)の店舗数	94 店舗 (令和 6 年 6 月 7 日現在)	95 店舗 (令和 11 年度末)
歩行者通行量(平日)	106 人/日 (令和 6 年 11 月 14 日(木):カメラの愛光前)	200 人/日

※商店街は、元町商店街、本町商店街、すまいる通り商店街、西八幡商店街

(7) 推進体制

安芸市中心商店街等振興協議会において、年に 1 回、PDCA サイクルにより取組状況を点検・検証し、必要な対策の追加・見直しを実施していきます。定期的な検証以外にも、必要に応じて適宜協議会を開き、対策の追加や見直しを行っていきます。それぞれの基本的な取組に応じた数値目標を設定することで、PDCA サイクルによる計画の進捗管理・バージョンアップを行なっていきます。

本計画では、アクションプラン（行動計画）を定め、取り組みを進めていきます(参考資料 5)。

アクションプランを推進するなかで、事業の追加・見直しの必要が生じたら、ワークショップを再開し、商店街事業者、関係事業者、地元住民等の意見を抽出し、計画へ反映させていくことで、実効性のある計画となるよう進めていきます。

計画全体の進捗管理については、安芸商工会議所、安芸市（商工観光水産課）、高知県（安芸地域本部）が半期ごとに進捗状況を確認し、実効性を担保していきます。

参考資料 1 安芸市中心商店街等振興協議会設置要綱

（設置）

第1条 市民、事業者、行政等の連携を促進し、安芸市の中心商店街等の活性化を図るため、安芸市中心商店街等振興協議会（以下、「協議会」という。）を設置する。

（所掌事項）

第2条 協議会は、中心商店街等の活性化に関する事項について協議する。

（組織）

第3条 協議会の構成員（以下、「委員」という。）は、次に掲げる者とする。

- (1) 市民又は商店街利用者
- (2) 中心商店街等又はその周辺の事業者
- (3) 商工業・観光関連団体の会員
- (4) 行政関係者
- (5) その他、会長が必要と認める者

2 委員の定数は、20人以内とする。

（任期）

第4条 委員の任期は3年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けたときにおける補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長及び副会長）

第5条 協議会に、会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を行う。

（会議）

第6条 協議会の会議（以下、「会議」という。）は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。ただし、最初に行われる会議については、安芸商工会議所専務理事が招集し、会長が選出されるまで司会を行う。

2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 会議の議事は、協議による委員の総意をもって決する。ただし、総意によりがたいときは、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

4 会議は、原則として公開する。ただし、個人情報の取扱いについては十分配慮し、必要に応じて非公開とする等の適切な措置を講じるものとする。

（委員の責務）

第7条 委員は、中心商店街等の活性化を推進し、地域経済の向上に資するため、会議において誠意ある議論を行うよう努めるものとする。

2 委員は、会議で決した議事の結果を尊重し、当該結果の誠実な実施に努めるものとする。

3 委員は、個人情報その他業務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

（ワーキンググループ）

第8条 協議会に、専門の事項を協議するため、ワーキンググループを置くことができる。

（庶務等）

第9条 協議会の庶務は、安芸商工会議所において処理する。

2 中心商店街等の活性化に関する相談、苦情等に対応するため、安芸商工会議所に連絡窓口を設置する。

（その他）

第10条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附 則

1 この要綱は、令和3年11月1日から施行する。

参考資料 2 安芸市中心商店街等振興協議会委員名簿

(順不同、敬称略、◎会長 ○副会長)

	団体名	職 名	氏 名
◎	安芸商工会議所	会頭	山本 諭
○	安芸市	副市長	竹部 文一
	安芸商工会議所	商業部会長	並村 努
	安芸本町商店街振興組合	理事長	佐藤 正
	一般社団法人安芸市観光協会	会長	西邨 出
	安芸金融協会	会長	大西 敏文 (～令和 7 年 3 月 19 日) 川田 保雄 (令和 7 年 3 月 19 日～)
	高知県中小企業家同友会	安芸支部長	脇川 慎太郎
	安芸市 企画調整課	課長	大野 崇
	安芸市 商工観光水産課	課長	岡林 愛
	高知県 商工労働部 経営支援課	課長	崎村 敦仁
	高知県 産業振興推進部	地域産業振興監 (安芸地域担当)	山中 祥司

【事務局】

団体名	職 名	氏 名
安芸商工会議所	専務理事	井上 一仁
安芸商工会議所 指導課	課長(経営指導員)	植村 邦彦
安芸商工会議所 指導課	指導係長(経営指導員)	上村 紀子
安芸商工会議所 総務課	補助員	東岡 由依
安芸商工会議所	参与	濱田 学

【関係機関】

団体名	職 名	氏 名
安芸本町商店街振興組合	事務局	山本 由加利
安芸市 商工観光水産課	商工観光課係 係長	安田 優希
安芸市 商工観光水産課	商工観光係 主幹	徳廣 誠人
高知県 商工労働部 経営支援課	主幹(商業流通担当)	豊永 拓也
高知県 産業振興推進部 産業政策課	地域支援企画員 (総括)(安芸地域)	山下 修也
高知県 産業振興推進部 産業政策課	地域支援企画員 (安芸市担当)	川添 聡美

参考資料3 安芸市中心商店街等振興協議会の開催状況

	開催日	内 容
第1回	令和6年10月21日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・安芸市中心商店街等振興協議会委員(案)について ・安芸市中心商店街等振興計画中間報告について ・安芸市中心商店街等振興計画延長について
第2回	令和7年3月19日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・安芸市中心商店街等振興協議会委員(案)について ・安芸市中心商店街等振興計画の総括について ・第2期安芸市中心商店街等振興計画について

参考資料4 安芸市中心商店街等振興協議会ワークショップの開催状況

	開催日	内 容
第1回	令和6年12月18日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・中心商店街等振興計画の中間報告について アクションプラン、数値目標等 ・次期中心商店街等振興計画の策定について 今期のふりかえりと次期の方向性
第2回	令和7年1月20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・アクションプランの検討について 取組内容の意見出し、意見まとめ